

各位

2026 年 7 月 28 日  
株式会社プロディライト

## クラウド PBX「INNOVERA」、通話録音の AI 要約機能と ユーザー向け履歴管理機能「MyLog」を 8 月 14 日提供開始

AI による通話要約・タスク抽出と通話履歴の一元管理を実現し、  
電話対応業務の業務効率化・生産性向上を支援。



電話の DX を推進する株式会社プロディライト（大阪市中心区：代表取締役社長 小南 秀光、証券コード：5580、以下プロディライト）は、クラウド PBX「INNOVERA」の通話録音をテキスト化するオプションサービス「Call to Text」において、新たに AI 要約機能を追加し、2026 年 8 月 14 日より提供開始いたします。あわせて、INNOVERA の内線番号を持つユーザー向け履歴管理機能「MyLog（マイログ）」を同日リリースいたします。

本機能の追加により、INNOVERA が標準機能として 6 ヶ月間保存する通話録音を「記録」から「活用」へと進化させ、企業のコミュニケーション基盤の強化と生産性向上を支援します。通話内容の確認や引き継ぎを効率化することに加え、情報の蓄積・共有・活用を容易にすることで、チーム全体のナレッジ共有や顧客対応力の強化を支援し、企業の生産性向上に貢献します。

Call to Text の詳細はこちら

URL : <https://innovera.jp/service/call-to-text/>

## ■提供開始の背景

近年、多くの企業では人手不足の深刻化や働き方の多様化を背景に、業務効率化や生産性向上への取り組みが加速し、AI を活用した業務改革（DX）への関心が高まり、電話対応業務においても同様のニーズが広がっています。

電話対応業務では、通話そのものに加え、通話終了後にも多くの業務が発生します。

- ・ 通話内容の確認・記録
- ・ 対応事項の整理
- ・ 社内共有・引き継ぎ
- ・ 次回対応の確認
- ・ チーム内でのフォロー状況の把握

これらは顧客対応品質を維持するために欠かせない業務ですが、一方で担当者の記憶や手作業に依存しやすく、対応漏れや引き継ぎ漏れが発生する要因にもなっています。

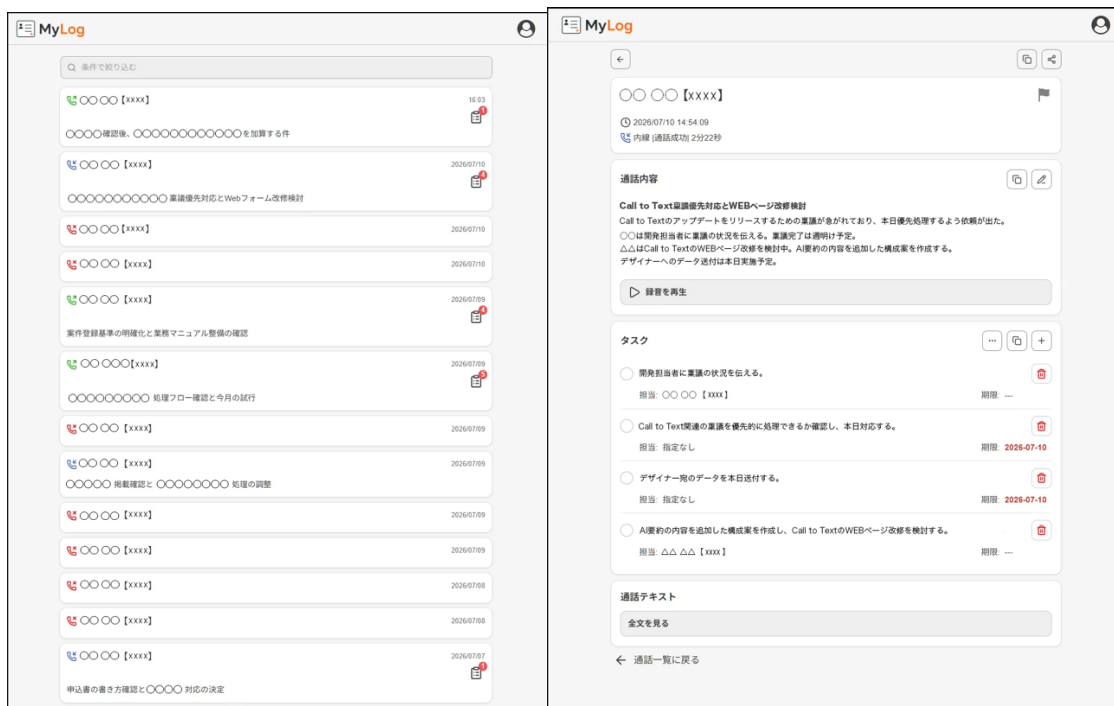
また、外出の多い営業担当者や複数人で顧客対応を行うチームでは、過去の通話内容や対応履歴を迅速に確認できる環境が求められています。

こうしたニーズを受け、プロディライトは通話録音を保存するだけでなく、「次の対応に活用できる情報資産」として活用することが、電話対応業務の生産性向上につながると考え、「Call to Text」における AI 要約機能の開発を進めてまいりました。

2026 年 6 月からは社内実証を実施し、通話内容の AI 要約機能およびタスク自動抽出機能の有効性を検証しました。その結果、営業部門やカスタマーサクセス部門を中心に、対応履歴の振り返りやタスク確認の効率化、顧客情報の共有促進など、業務効率の大幅な向上が確認されました。

今回の正式リリースに向けて、実証期間中に得られた声をもとに改善を重ね、さらに実用性の高いサービスとして提供いたします。

## ■提供を開始する主な機能



この度リリースする各機能は、ユーザー向け履歴管理機能「MyLog（マイログ）」上でご利用いただけます。「MyLog」には、内線番号を持つアカウントでログインが可能です。なお、②③は「Call to Text」によってテキスト化された通話データが対象となります。

### ① 通話履歴の確認

自分の通話履歴を一覧で確認できます。過去の通話検索や顧客対応履歴の確認をスムーズに行うことが可能です。

### ② AI 要約機能

AI が自動生成した要約を確認できます。要点を短時間で把握でき、商談前の確認や問い合わせ対応後の振り返りにも活用可能です。

### ③ 関連タスクの確認

通話中に発生した対応事項や次回対応を、AI が自動生成します。通話後に必要な対応をひと目で把握でき、業務の抜け漏れ防止に役立ちます。

### ④ スマートフォン・PC 対応

「MyLog」は、スマートフォンおよび PC からログイン可能です。外出先や移動中も通話内容や引き継ぎ事項を確認できます。

#### ⑤リーダー権限によるメンバー履歴確認

リーダー権限の設定によって、グループメンバーの履歴が確認可能になります。チーム全体の対応状況の把握やフォロー、対応漏れ防止に活用できます。

#### ■ 想定される利用シーン

営業活動では、訪問前や商談前に過去の通話内容を短時間で確認し、これまでのやり取りや顧客要望を踏まえた提案活動が可能になります。スマートフォンからも利用できるため、移動中や訪問直前の情報確認にも活用できます。

カスタマーサポート業務では、問い合わせ内容や過去の対応履歴を迅速に確認できるため、担当者間の引き継ぎや継続対応がスムーズになります。また、リーダーはメンバーの対応状況を把握し、必要に応じてフォローを行うことが可能です。

さらに、複数人で顧客対応を行うチームでは、「MyLog」を活用することで対応履歴やタスク情報を共有でき、電話対応の属人化を防ぎながら、組織全体で顧客対応品質の向上を支援します。

#### ■ 今後について

今後は、リリース後の利用状況やユーザーからのフィードバックをもとに、さらなる機能改善を行います。

プロディライトは、「INNOVERA」を、コミュニケーションにおける様々な課題を解決する、より実用的で価値の高い音声プラットフォームへと進化させ、企業活動の基盤となる「会話」の価値最大化の実現に向けて挑戦し続けます。

#### 関連するプレスリリース

クラウド PBX「INNOVERA」、AI による電話応対業務自動化の社内実証を開始

URL : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000186.000144252.html>

<株式会社プロディライト及び「INNOVERA」について>



一般企業から店舗、コンタクトセンターまで規模や業種を問わず対応できる  
ビジネスフォンの新スタンダード

| Function INNOVERA 標準機能の一部をご紹介します。                           |                                                              |                                                                | Option オプション機能を利用してより便利な電話環境へ。                                |                                                               |                                                            |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>全通話録音</b><br>🎧<br>全ての通話を自動で録音。<br>データ量制限なく9ヶ月<br>間保存します。 | <b>スマホ内線化</b><br>📱<br>ご利用の固定電話の番号<br>をスマホで受電。家電が<br>可能になります。 | <b>拠点間内線</b><br>🏢<br>別の支店やテレワーク中<br>の従業員へも内線通話が<br>できるようになります。 | <b>アウトバウンド</b><br>📞<br>リストへ自動で発信する<br>など家電業務に特化した<br>システムが充実。 | <b>テキスト化</b><br>💬<br>家電音声や、録音内容を<br>テキスト化しチャットや<br>メールに転送します。 | <b>感情分析</b><br>💡<br>通話音声から感情を解析。<br>ユーザーの状態を5段階<br>で表示します。 |

プロディライトは、「電話の DX」を推進するクラウド PBX「INNOVERA」(<https://innovera.jp/>)を提供しています。INNOVERA は、スマートフォンや PC にて会社の電話番号の発着信を可能にした現代の働き方に適した電話環境を提供する“Japan Quality”の国産クラウド PBX で、ビジネスフォン用途はもちろん、少人数のコールセンターの立ち上げ等、様々な用途に対応することもできます。

URL : <https://prodelight.co.jp/>

## 【プロディライト IR note】

ステークホルダーの皆様へ当社情報をお届けする公式 note を開設しました。  
是非、ご覧ください。



URL : <https://note.prodelight.co.jp/>

## 【当社リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社プロディライト

経営企画室 清水・野木

アドレス : [communication@prodelight.co.jp](mailto:communication@prodelight.co.jp)

電話番号 : 06-6233-4555

FAX 番号 : 06-6233-4588